



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2012/9/23 Rd-6 スポーツランド SUGO

天候：曇りのち雨 気温：20℃ 出走台数：18台

観客数：22日(土)6,600人 23日(日)8,400人

予選日の清々しい秋の空は一転、朝から厚い雲に覆われたスポーツランド SUGO は、フリー走行開始とともに本格的な雨へ。気温/路面温度は上がり、雨脚はますます強くなったため、セーフティーカー先導スタートとなる。

フロントローからスタートの2台は、ファステスト ラップを連発しながら後続を引き離し、混乱する中断グループをしり目に燃費マネジメントをしながら周回を重ねた。

20周目を過ぎるころから、周回遅れの車両が出始め、ラップタイムが安定しない。それでも、首位を走る伊沢選手は唯一の22秒台を記録しながら2番手の塚越選手を引き離し、塚越選手も3番手との差を少しずつ開けてゆく。

トップグループが給油のためのピットインを終えた50周目、チームは、まず塚越選手をピットに呼び、11秒の素早いストップでコースへ送り出す。51周目には伊沢選手もピットイン、首位を維持したままコースへ復帰した。

レース終盤も周回遅れの処理にてこずる場面がおおかったが、クリアに処理しレースをコントロールしていた58周目、最終コーナーでスピンした車両のため、セーフティーカーが導入された。これでこれまで築いたマージンがリセットとなってしまう。

セーフティーカーが解除されたのは残りわずか5周、ここからトップ3台の一騎打ちとなった。伊沢選手と塚越選手は、それぞれ渾身の走りで3位を引き離し、僅か5週の超スプリントレースを制し、伊沢選手は一度もトップを譲ることなく嬉しい初優勝、塚越選手2位の、1-2フィニッシュでパーフェクトレースを終えた。

40：伊沢選手 優勝

フォーミュラニッポン優勝まで、結構時間がかかってしまいましたね。ここまで我慢してサポートしてくれた皆様に感謝しています。

予選もレースも、1-2フィニッシュで完璧なレースができました。途中、周回遅れに引っかけたり、バイザーが曇って視界を確保できなかったりと、長くタフなレースでしたが、集中力を切らさないよう、ピットからも無線でサポートしてくれました。

チャンピオンの可能性も繋げていますが、細かいことを考えず、次戦もトップだけを目指します。

41：塚越選手 2位

難しいレースでしたが、しっかり戦って、最後までポジションを守れました。

守りに入らず、トライした結果ですが、土曜日の走り始めでほんの少し出遅れたことが、伊沢選手との差となったのでしょうか。次戦鈴鹿ですばらしいレースをしてチャンピオンを決めたいです。